

# 神道夢想心流 日本杖道会会報

第36号

発行日 平成 25年 1月  
発行人 日本杖道会  
編集人 矢 沢 隆 行  
印刷所 萩原印刷(株)

## 賀正

あけましておめでとーございませう。  
皆様のお陰で無事に新しい年を迎えることができました。

一回各流武道大会が催行されました。祖神夢想権之助先生の修練の地にて大会が再開されましたことは、ひとえに皆様のお力によるものが大きいかと思います。間髪入れずに2年に一度の流祖祭も行われ、福岡太宰府天満宮のお膝元竈門神社境内の夢想権之助神社にて玉串を捧げることができました。

しかしながら、昨年是一つだけやり残しがあったことが残念でありません。それは長野県浪合にての奉納演武であります。ご存知の通り神道夢想流杖道は杖術は元より各種武道を併伝しております。一心流鎖鎌術は念慈恩を流祖とする武道で、晩年慈恩が終の棲家しておりますのが浪合であります。継続的に奉納演武をして参りましたが、昨年は実施することができませんでした。

古流文化を継承し、祖神を敬う心を忘れないよう日本杖道会は武道を通して歩いて行きたいと思っております。そのためにも、自身も含めました会員の皆様のお力を本年もお貸し願いたく存じ上げます。

本年も倍旧のお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。年頭にあたり、皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十五年元日

日本杖道会会長 神之田 常盛

## 流祖祭及び全国杖道大会

11月10日は流祖祭が催行されるため羽田より福岡空港、そして太宰府へと到着した。寒風ふきささぶ中にて神道夢想流杖道振興会会長神之田常盛師範筆頭に各地より会員が多数馳せ参じた。竈門神社は改修中であり前回参加した時とは勝手が違い神社の参列は人があぶれる事態であったものの、宮司により祝詞があげられた後、各参列者のご祝辞を頂き夢想権之助先生の祖神を無事奉納することができた。

帰り際に神之田常盛師範、大里耕平師範と有名な太宰府天満宮を参拝し、第一回の流祖祭の演武場所である大木を紹介して頂いたり、太宰府名物の梅ヶ枝餅を頬張りつつ昔の流祖祭の話聞いた。時間も差し迫っていることもあり太宰府を後にした。

あけて翌日は、博多体育館にて大会があり多数が参加していた。大会の記念品で幕末の福岡藩士で先師でもある平野次郎國臣先生の古歌の写しが配られた。道場でも神之田師範より聞きよんでいたが短冊にて文言を見ると杖道の奥深さがあるようであった。

「疵つけず、人をこらして、戒しむる、

おしえは杖の、外にやはある」



安政五年二月吉日

福岡藩士 平野次郎國臣



# 第21回 各流杖道大会 真壁体育館(桜川市)

日時 平成24年10月8日  
主催 日本杖道会  
主管 藏脩館杖道会  
後援 桜川市  
後援 桜川市教育委員会

平成24年10月8日、神道霞流剣術発祥之聖地である茨城県桜川市真壁体育館において、日本杖道会主催の第21回各流杖道大会が盛大に開催されました。

開会式では、神之田会長の挨拶に続き、地元桜川市長と桜川市教育長らに祝辞をいただき、さらに当日朝、ぜひにと申し出られた桜井旅館多田信一氏は、神之田会長との長いお付き合いの中から、武道普及で取り組む師の姿勢と情執およびその功績を讃えて下さいました。

演武に先立ち、披露された藤かほりさんこと佐藤政子杖道教士七段による三番叟の舞はきらびやかな衣装とともに、初めて目にする方も多く



大会を一段と盛り上げてくれました。

演武は当地ゆかりの神道霞流剣術に始まり参加者それぞれが日頃修練した心と技を思う存分發揮し、ご来賓・見学者・演武者に多くの感動を与え成功裡に終えることができました。

## 演武種目

- ・ 神道夢想流杖道・杖道杖道体操
  - ・ 基本相對・表・中段・影・五月雨
  - ・ 五本の乱れの各技
  - ・ 内田流短杖術
  - ・ 一心流鎖鎌術
  - ・ 一角流十手捕縛術
  - ・ 護身術
  - ・ 日本剣道形及び木刀による剣道基本技稽古法
  - ・ 知心流知心五行派刀法
  - ・ 合気道・居合道・銃剣道
- 等、多彩な武道が演武され、合間に披露された宮城の姉妹の仇討ちを表したと言われる団七踊りでは、即興の会員役者が見事にその役を演じきり、拍手喝采を浴びていました。

